

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

投資依存経済成長はなぜ持続できないのか (その1)

野口 悠紀雄 (早稲田大学ファイナンス総合研究所顧問)

1. 現在の日本経済は公共事業で支えられている。実質GDP (4月~6月) の対前期増加率 (年率換算値) は、第一次速報値の 2.6% 増から 3.8% に上方修正されたが、その大きな原因は、政府固定資本形成 (公共投資) と民間企業設備投資が増えたことなのである。「民間設備投資は民需だから、これが増えたことは、金融緩和によって好循環の歯車が回り始めていることの証拠だ」と考えられるかもしれない。
2. しかし、そうではない。実は、民間企業設備投資も、官需の影響で伸びているのである。つまり、設備投資も間接的に公共事業依存なのだ。すなわち、建設業が 26.0% 増、不動産業が 20.1% 増と大幅に伸ばした。大型補正予算による公共事業が、こうした著して設備投資増をもたらしたのだ。「支出・生産・所得の好循環が動き始めており、これによって民需指導の持続的な経済成長が実現する」と言われる。
3. しかし、実際に起きているのは、民需主導ではなく、官需主導の経済成長なのだ。この成長メカニズムの問題は、財源の制約が厳しいために、持続性がないことだ。強行すれば金利が上昇する。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2013年9月28日号)

ワンポイント経営アドバイス

物流を製造業の成長原資に

木川 真 (ヤマトホールディング社長)

1. モノ作り大国・日本が、世界的な競争力を失ったのはなぜか。為替などの要因でコスト競争力を失ったことにある。だが、これを製造工程だけで挽回しようとしても難しい。多くの企業が既に血のにじむような努力を重ねているからだ。一方で、製造前後の物流コストや在庫コントロールには改善できる余地が多い。
2. 例えば、川上から川下までのトータル在庫を圧縮できればコストは劇的に下がるし、製品のストック期間が短くなるほどコストは抑えられる。そういう意味では、日本の製造業の成長原資になるのは、ロジスティクスの改革だ。物流は宝の山だ。

(参考:「日経ビジネス」:2013年9月16日号)

新規成長分野

見守りサービス

1. 10月1日から全国6エリア103局で「郵便局のみまもりサービス」を試行するのは日本郵便㈱。月1回、郵便局員が高齢者世帯を訪問または食事会に招待して生活状況を把握し、家族など指定の報告先にレポート。24時間電話相談では、心身の健康・栄養相談、医療機関の紹介など、日常生活の悩みごとをコールセンターで受け付ける。
2. これら基本サービスの料金は月額1050円 (税込)。オプションで「電話による毎日の体調確認」「買い物支援サービス」なども提供する (別料金)。同社は事業性を検証しつつ、2014年度以降、順次エリアを拡大していく予定だ。

(参考:「野村週報」2013年10月7日号)

古典に学ぶ

強いものは必ず衰える

(解説)「道」にのっとって君主を助ける者は、武力に頼って覇者となる策を取らない。むしろ兵を引いて、他国と争うまいとする。軍の行くところ、土地は荒れていばらが生える。大戦争のあとには、必ず飢饉が来る。だから真の戦上手は、戦いの目的を果たせばただちに矛を収めて、むやみに勇名を馳せようとはしない。強いものは、必ず衰える。この道理を知らず、強さに執着するのは、「道」にはずれた行為である。「道」にはずれた行為は、長続きせぬものだ。

(参考:奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」:徳間書店)